

北安理科たよい_{o.4}

平成28年11月7日(月)

北安曇郡理科教育研究会

文責 小山(高瀬中)

天然記念物！湯俣の噴湯丘観察会

10月15日(土)に、恒例の大町市天然記念物、湯俣温泉の噴湯丘観察会を行いました。有賀先生(大町西小学校)の計画で案内を出したところ、理科研究会以外の先生方やご家族の参加も多数あり、総勢11名と大盛況でした。天気にも恵まれ晴天の中さわやかな山の空気を感じながら、片道約二時間の行程を楽しみました。

今回も例年通り、中信森林管理署と東京電力の許可を得て、普段は入れない高瀬ダムのバックウォーター奥の林道の終わりまで、車二台に分乗して乗り付けて、そこから歩きました。車を降りてから、湯俣温泉までは割と平坦で整備された道です。川沿いの木道など整備されています。去年は、かなり痛んでいるところもありましたが、今年はきれいになっていました。また、湯俣温泉晴嵐荘近くの吊り橋も二本とも修理がされて、安全に渡ることができました。



晴嵐荘で休憩してからは、いよいよ噴湯丘のあるところまで、河原をさかのぼっていきます。「晴嵐荘でサンダルを借りて、浅瀬をわたればいい。」と言う人もいましたが、ちょっと水の量が多かったので、「とりあえずいけるところまで行こう。」ということで前へ進みました。釣り橋を渡り、お宮を越えると、遠くに噴湯丘が見えました。

昨年、岩をしがみついて越えたところですが、今年は川の流れが変わっていたので、岩に沿って川を上ることにしました。ザイルで安全を確保して川を渡りました。

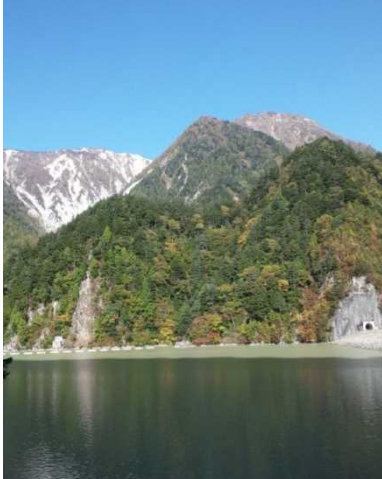
近くに湯煙が出ていたので、噴湯丘に行かなくても、その湯煙までいければと思いましたが、例年渡っているところで、少し無理をして、ザイルで安全を確保しながら、9人が川を渡り、噴湯丘の側まで行くことができました。

昨年見たときは、50cmぐらいだった川の流れの中にある噴湯丘が、今年は、150cmぐらいに成長していてびっくりしました。てっぺんに三ヶ所お湯がわき出っていて、「これだから成長が早いのかな。」と思いました。一番メインの噴湯丘は、若干大きくなっていったようにも思います。また、中州には、かなりの量の温泉が噴き出していて、去年は真っ黒でしたが、今年は白くなっていました。

私は念願の噴湯丘横で、露天風呂につかることができました。天気も良く身体も芯から温まり最高でした。また、卵をお湯につけて作った温泉卵も、黄身が半熟、白身がとろとろの本物の温泉卵になりました。

私たちが噴湯丘を楽しんでいると、サンダル履きの親子が下流を渡ってきました。どこを渡ったのかな?と思いました。確かに途中であった「七倉荘」の方が、晴嵐荘でサンダル借りて渡れるよ!と言っていたのですが、どこかポイントがあるのでしょうか?来年は探してみたいと思いました。

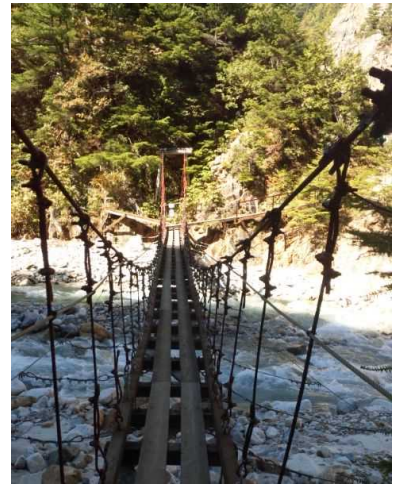
噴湯丘ではちょっとのんびりしすぎてしまいました。事故もなく、予定通り返ることができました。是非来年もたくさんの方を案内したいと思います。



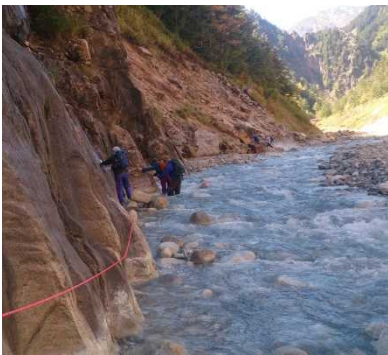
高瀬ダムから烏帽子方面を望む



高瀬ダム奥のゲート



修理された吊り橋を渡り



道なき道を進む



そして、川を渡ると



向こうに噴湯丘が見えた！



川の中にも噴湯丘が！



噴湯丘のてっぺん



念願の露天風呂！



晴天の下、見事な噴湯丘が観察できました。



北安理研のメンバーは自然が大好きです！